

施策（13）家庭の育児力・教育力の向上 ～親としての成長をバックアップ～

1 現状・課題及び方向性

<現状・課題>

- 教育の原点であり、出発点でもある家庭は、子どもが基本的な生活習慣を身につけ、規範意識、思いやり、社会的ルール等を学び、心身ともに健やかに育つための重要な役割を担っています。
- 「朝食の摂取」については、「毎日食べている」と回答した割合が概ね9割を超える高水準を維持していますが、「就寝時間（午後10時前に就寝する割合）」（25%前後）、「家族の人が話をよく聞いてくれる割合」（8割超）を含め、大きな改善は見られません。（※1）
- 子育てに関して悩んでいること・気になることとして高い割合を占めているのは、「子どもを叱りすぎているような気がする」、「子どものテレビやメディアとの接し方について」、「子どもの教育について」、「病気や発育・発達について」などとなっています。（※2）

家庭の育児力・教育力を高めていくためには、各家庭が必要としている子育てに関する知識、スキルなどニーズを的確に把握することが必要です。

<方向性>

- 保護者の悩みや不安を解消するため、これまで実施してきた保護者向けの学習機会の提供や情報発信については、育児ノウハウに関するものやメディアリテラシーに関するものなど、保護者が「今知りたい、学びたい」と感じている内容などをうまく盛り込むよう心がけます。
また、提供方法については、共働き世帯の増加など今の社会情勢に適合したやり方にも修正していくことを検討するとともに、子どもの立場に立った家庭生活のあり方について、保護者一人ひとりに考える機会を提供できるよう努めます。
- NPOや各種団体が独自に実施する育児講演会やセミナーが、市内で数多く開催されるようになれば、各家庭に対し多様な選択肢を提供することができます。こうした活動の後押しとなる環境づくりや機運の醸成に、引き続き取り組んでいきます。

※1 「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」成果指標（平成27～30年度）

※2 北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）

2 施策の柱

①	子どもの健全育成の基礎となる家庭の育児力・教育力の向上 家庭において規範意識等を身に付けるとともに、親子のコミュニケーション力を高めることができるよう、学習の機会や情報提供、啓発活動を行うことにより、家庭の育児力・教育力の向上に取り組む。
②	基本的な生活習慣の定着や食育の推進 育児教室や育児相談等のさまざまな機会を捉え、基本的な生活習慣に関する知識の普及を図り、情報提供を行うとともに、発達段階に応じた食育を推進する。

3 成果指標

朝食を「ほぼ毎日」食べる子どもの割合	【増加(全国平均以上)】
就寝時間が午後10時以降の就学前児童の割合	【減少】
子どもの話をよく聞いていると思う保護者の割合	【増加】
親子の会話の頻度	【増加】
1歳6か月児／3歳児に仕上げみがきをする保護者の割合	【維持】
子どもに絵本の読み聞かせをする頻度	【増加】
子どもがテレビやインターネット上の動画サイト等を見る時間	【減少】

4 施策を推進する主な取り組み

柱① 子どもの健全育成の基礎となる家庭の育児力・教育力の向上

No	取り組み名 担当課	概要
172	家庭・地域への啓発事業 市民文化スポーツ局・生涯学習課 教育委員会・指導第二課	核家族化や共働き世帯の増加、地域のつながりなど、子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化していく中、より多くの保護者に対する、学習機会と役立つ情報を提供し、よりきめ細かく家庭の教育力向上に取り組む。 ○早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣の重要性を啓発するリーフレット「きほんのき」(3～5歳児対象)の作成配布 ○全市立幼稚園・小・中・特別支援学校における家庭教育学級の実施 ○保育所・私立幼稚園における家庭教育学級の実施 など

189 再掲	家庭内事故防止のためのPR 子ども家庭局・総務企画課	0歳児を除く子どもの死亡原因のトップである不慮の事故をなくすため、子育てふれあい交流プラザ内に、日常の生活空間を再現した「セーフキッズ」を設置し、家庭内の危険箇所や事故の予防方法を紹介する。
173	子どもの読書活動の推進 教育委員会・子ども図書館、学事課、指導第一課	北九州市子ども読書活動推進条例等に基づき、学校における一斉読書の継続・充実や家庭への働きかけ等、言葉の力の向上につながる読書習慣の定着を図る。また、子ども向け専門の図書館「子ども図書館」において、乳幼児から小・中・高校生及び保護者がゆったりと語りながら読書を楽しめるように、良質な資料を豊富に収集・提供する。 学校図書館職員の配置やブックヘルパー等の活用により、すべての小中学校における読書活動の充実を図る。
174	はじめての絵本事業 教育委員会・子ども図書館	妊娠時の早い時期から子どもの読書に関心を持ってもらい、おなかの赤ちゃんに絵本を読んであげることにより、親子でゆったりとしたひと時を過ごしてもらえよう、母子健康手帳の交付時に「絵本パック」を無料で配布する。
175	北九州市子どもを育てる10か条の普及促進活動 教育委員会・指導第二課	子どもの基本的な生活習慣の定着や、家庭や地域の教育力の向上を図るため、「早寝・早起き・朝ごはん運動」や「北九州市子どもを育てる10か条」を、市民に広く実践してもらおうための普及促進を図る。
64 再掲	子どもの権利の周知・啓発 子ども家庭局・総務企画課	「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」にうたわれた子どもの権利等について、子ども本人や保護者、子どもに関わる人たちなどに対し、周知・啓発を行う。
112 再掲	家族のためのペアレントトレーニング事業 子ども家庭局・子ども総合センター	虐待の再発防止および発生予防を図るため、「虐待を行った保護者」および「養育不安のある保護者」に対して、「家族再統合コース」「養育不安コース」の二種類のプログラムを実施し、児童に対する養育技術の習得等を図る。
176	パパママ救急教室 消防局・救急課	少子化・核家族化が進む中、子どもの病気やケガへの対応などに不安を抱える子育て中の親は多いと考えられることから、子育てへの不安を少しでも軽くし、また、かけがえのない小さな命を守るため、新米パパママを対象に、子どもに関する応急手当教室を開催する。

78 再掲	<p>ネットトラブル等 防止及びスマート フォンの適正利用 の推進</p> <p>子ども家庭局・青少年課 教育委員会・指導第二課</p>	<p>インターネット上のウェブサイト等において、児童生徒の不適切な書き込み等を把握し問題の未然防止・早期発見を図るとともに、教職員に対する研修を行い、ネットトラブルの防止に努める。また、児童生徒のスマートフォンの所持率が年々増加している状況を踏まえ、スマートフォンの適切な使用について児童生徒や保護者への啓発に取り組む。</p> <p>加えて、青少年が、SNSをはじめとしたコミュニティサイトなどをきっかけとする事件に巻き込まれるケースの増加を受け、メディア上の有害環境の危険性を啓発する取り組みを推進するほか、警察、青少年団体と連携した「メディア（ネット）・リテラシー向上協議会」を設立するなどして、ネットやスマートフォンの適正な利用推進を図り、ネット被害やいじめの防止、スマートフォンやゲーム依存の防止啓発等、今日のデジタル社会に顕在化している様々な課題の解決に向けて取り組んでいく。</p>
----------	--	--

柱② 基本的生活習慣の定着や食育の推進

No	取り組み名 担当課	概要
12 再掲	<p>育児教室等の実施 (すくすく子育て支援事業) 子ども家庭局・子育て支援課</p>	<p>乳幼児の食事・睡眠等の基本的生活習慣や、メディアとの付き合い方等子育てに関する知識の普及を図るため、赤ちゃんの育て方や子どもの心と身体の発育・しつけなど育児に必要な知識を中心とした講義や交流会を取り入れた教室を開催する。</p>
13 再掲	<p>食を通じた乳幼児 等の健康づくり事 業 子ども家庭局・子育て支援課</p>	<p>妊産婦や乳幼児の食事や栄養について、知識の普及と不安や悩みの軽減を図るため、実習形式で学べる教室の開催及び相談を行う。また、参加できない対象者については、リーフレットの配布等で啓発を行う。</p>
14 再掲	<p>親子ですすめる食 育教室 子ども家庭局・子育て支援課</p>	<p>幼児期からの正しい食事の仕方や望ましい食習慣の定着のために、幼稚園や保育所等において、就学前児童の保護者を対象に幼児期の食育について、栄養士の講話や調理実演などを行う。</p>

15 再掲	口腔保健支援センター事業 <small>保健福祉局・健康推進課</small>	<p>関係機関・団体と連携し、歯科口腔保健に関する知識の普及啓発や情報提供、市民の歯科疾患の予防等に取り組み、本市の状況に応じた歯科口腔保健施策を推進する。また、子どもの保護者や子どもにかかわる関係職種、子どもたちを対象に、歯科健診や歯科保健指導等の場を通して、本市の重要な健康課題の1つであるむし歯予防に取り組む。</p>
177	幼児期からの生活習慣病予防教室 <small>子ども家庭局・保育課</small>	<p>幼稚園、保育所等の保護者や児童に対して栄養士による講話や相談、運動指導員による遊びを取り入れた運動実技などを行い、小児肥満に関する知識の普及、予防の啓発を行う。</p>

(参考データ)

○ 起床時間・就寝時間（就学前児童：平日）

区分	平成25年度	平成30年度
起床時間が午前9時以降	3.0%	2.3%
就寝時間が午後10時以降	25.3%	20.3%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 起床時間（小学生、中学・高校生の平日）

区分	小学生		中学・高校生	
	平成25年度	平成30年度	平成25年度	平成30年度
7時以前	50.7%	46.4%	60.7%	52.6%
7時台	47.3%	51.6%	36.0%	41.1%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 就寝時間（小学生、中学・高校生の平日）

区分	小学生		中学・高校生	
	平成25年度	平成30年度	平成25年度	平成30年度
19時台～20時台	7.4%	5.4%	0.1%	0.6%
21時台	47.6%	44.6%	3.0%	2.1%
22時台	40.1%	41.3%	19.0%	16.8%
23時台	3.1%	7.0%	43.0%	41.7%
0時以降	0.7%	0.6%	33.4%	24.7%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 平均睡眠時間（小学生、中学・高校生）

区分	小学生		区分	中学・高校生	
	平成25年度	平成30年度		平成25年度	平成30年度
8時間未満	4.2%	4.0%	6時間未満	9.6%	7.4%
8時間以上 9時間未満	26.1%	29.5%	6時間以上 7時間未満	21.6%	21.8%
9時間以上 10時間未満	49.6%	48.9%	7時間以上 8時間未満	33.3%	33.0%
10時間以上 11時間未満	18.3%	15.3%	8時間以上 9時間未満	28.5%	29.9%
11時間以上	1.0%	0.7%	9時間以上	5.7%	5.1%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 朝食を「ほぼ毎日」食べる子どもの割合

区分	平成23年度	平成28年度
就学前(乳幼児)	93.0%	92.7%
小学生	93.4%	93.0%
中学生	88.3%	92.5%
高校生	83.3%	84.9%

資料：北九州市健康づくり実態調査

○ 子どもの規範意識や自尊感情などの状況

区分	小学6年生		中学3年生	
	平成25年度	平成30年度	平成25年度	平成30年度
学校の決まりを守っている	87.2%	88.3%	91.0%	95.0%
自分にはよいところがある	72.2%	82.7%	64.2%	78.4%
将来の夢や目標を持っている	88.2%	86.5%	73.1%	70.8%

資料：全国学力・学習状況調査

○ 子どもの話をよく聞けていると思う保護者の割合

区分	よく聞けている	だいたい聞けている	あまり聞けていない	聞けていない	わからない	無回答
小学生	27.0%	62.8%	8.7%	0.3%	0.5%	0.7%
中学・高校生	31.0%	55.7%	10.2%	0.9%	0.6%	1.6%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）

○ 家族との会話の状況

区分	毎日会話した	ときどき会話した	ほとんど会話はなかった	まったく会話はなかった	無回答
小学生	98.5%	0.7%	0.1%	0.1%	0.7%
中学・高校生	91.8%	5.0%	1.2%	0.3%	1.7%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）

○ 子どもに絵本の読み聞かせをする頻度

区分	ほぼ毎日	週に5, 6日	週に3, 4日	週に1, 2日	ほとんどしない(まだしていない)	無回答
就学前児童	21.0%	7.3%	19.2%	30.0%	21.5%	1.0%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）

○ 子どもが1日にテレビやインターネットを見る時間

区分	全くない	1時間未満	1時間以上3時間未満	3時間以上5時間未満	5時間以上	わからない	無回答
就学前児童	3.0%	22.7%	58.6%	12.6%	1.3%	1.0%	0.8%
小学生	1.4%	17.6%	64.6%	14.5%	1.5%	0.1%	0.4%
中学・高校生	0.6%	15.1%	56.0%	19.3%	5.4%	2.2%	1.4%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）